

半僧坊

半僧坊には、建長寺を火事から守るのが主な役割である神道の神、半僧坊が祀られています。静岡県の方広寺から運ばれてきた神です。1890 年に半僧坊の霊は分けられ、建長寺に移されました。

半蔵菩薩は、山や森に棲むといわれる妖怪のような伝説の生き物である天狗の姿をしていると考えられています。本殿への道にある 12 体の像は、カラス天狗の姿で半蔵坊に随行しています。

晴れた日には、本殿横の展望台から鎌倉の海岸や富士山を眺めることができます。本殿の横には 180 段の急な上り階段があり、見晴らしの良い場所に行くことができます。